

東証一部 6143

# 未来を創る

2017年3月期

## 決算説明会

2017年5月19日

**Sodick**  
株式会社 ソディック

<b>ポイント</b> .....	<b>3</b>
<b>I. 2017年3月期 決算概要</b> .....	<b>4</b>
<b>II. 2017年12月期 業績予想</b> .....	<b>17</b>
<b>III. 株主還元</b> .....	<b>25</b>
<b>IV. 中長期的戦略及び見通し</b> .....	<b>27</b>
<b>(参考資料)</b> .....	<b>31</b>

## 2017年3月期

- ✓ 売上高618億12百万円（前期比  $\Delta$ 33億33百万円、 $\Delta$ 5.1%）、営業利益52億36百万円（前期比  $\Delta$ 11億16百万円、 $\Delta$ 17.6%）
- ✓ 売上高は、放電加工機、射出成形機の販売台数は前期を上回ったものの、為替レートが前期に比べ円高に推移した影響を受け、減収。（参考：為替変動による影響 前期比 $\Delta$ 約48億円）
- ✓ 営業利益は、研究開発費の増加および海外子会社での販管費増加などもあり減益。

## 2017年12月期 通期業績見通し

- ✓ 先進国（日本、北米、欧州）においては、自動車・航空宇宙・医療機器関連の設備投資需要が底堅く、引き続き堅調に推移する見通し。
- ✓ 中国では人件費の高騰などに伴い、自動化・高精度機の需要が増加しており好調に推移する見通し。
- ✓ 売上高 558億円、営業利益 53億円を見込む。※2017年12月期は9か月の変則決算

## 中長期的成長戦略

- ✓ 金属3Dプリンタの研究開発・販売を加速し、早期に新たな事業の柱に成長させるとともに、ワンストップソリューションを活かした製品群の展開により既存事業（工作機械事業、産業機械事業）の相乗的成長を図る。
- ✓ 2019年12月期までに売上高 769億円、営業利益 84億円を展望。

# **I . 2017年3月期 決算概要**



# 業績ハイライト

- ✓ 放電加工機、射出成形機の販売台数は前期を上回ったものの、為替レートが前期に比べ円高に推移した影響を受け、減収。  
(参考：売上高に対する為替変動の影響 △約48億円)
- ✓ 営業利益は、研究開発費の増加および海外子会社での販管費増加などもあり減益。

(百万円)

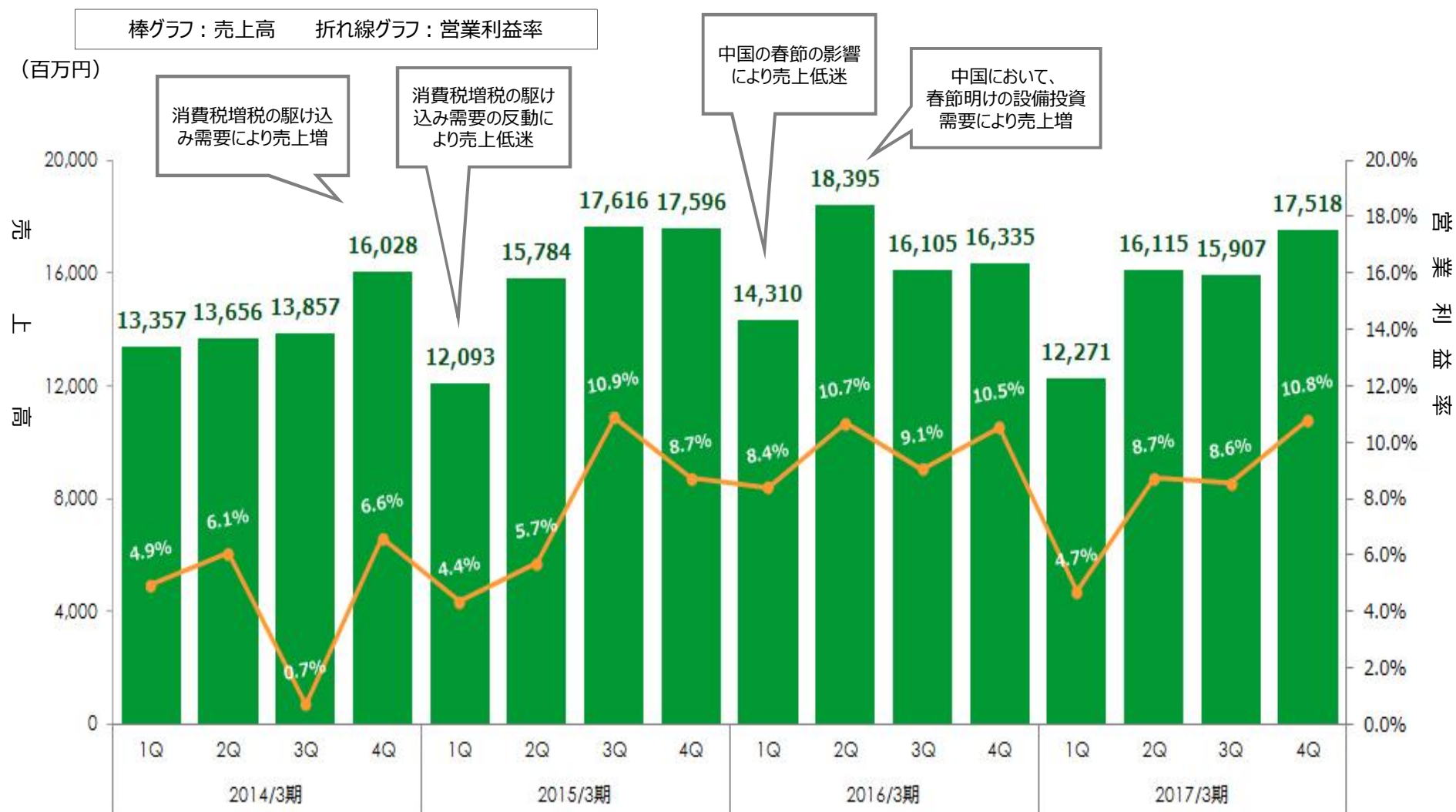
	2016年3月期		2017年3月期		前期比		2017年3月期 通期予想
	実績	利益率	実績	利益率	金額	増減率	
売上高	65,146	-	61,812	-	△3,333	△5.1%	61,100
売上総利益	23,777	36.5%	22,494	36.4%	△1,282	△5.4%	-
営業利益	6,353	9.8%	5,236	8.5%	△1,116	△17.6%	5,350
経常利益	5,719	8.8%	4,620	7.5%	△1,098	△19.2%	4,550
純利益	4,167	6.4%	3,644	5.9%	△522	△12.5%	3,500
ROE	8.4%		7.4%				

期中平均 為替レート	ドル	120.15 円	108.34 円	104.19 円
	ユーロ	132.60 円	118.74 円	116.26 円
	人民元	19.21 円	16.32 円	16.00 円
	バーツ	3.44 円	3.08 円	2.96 円

※参考情報 2017年3月期末 為替レート    ドル：112.19円    ユーロ：119.79円    人民元：16.76円    バーツ：3.26円  
 2016年3月期末 為替レート    ドル：112.68円    ユーロ：127.70円    人民元：18.36円    バーツ：3.19円

# 売上高・営業利益率推移（四半期毎）

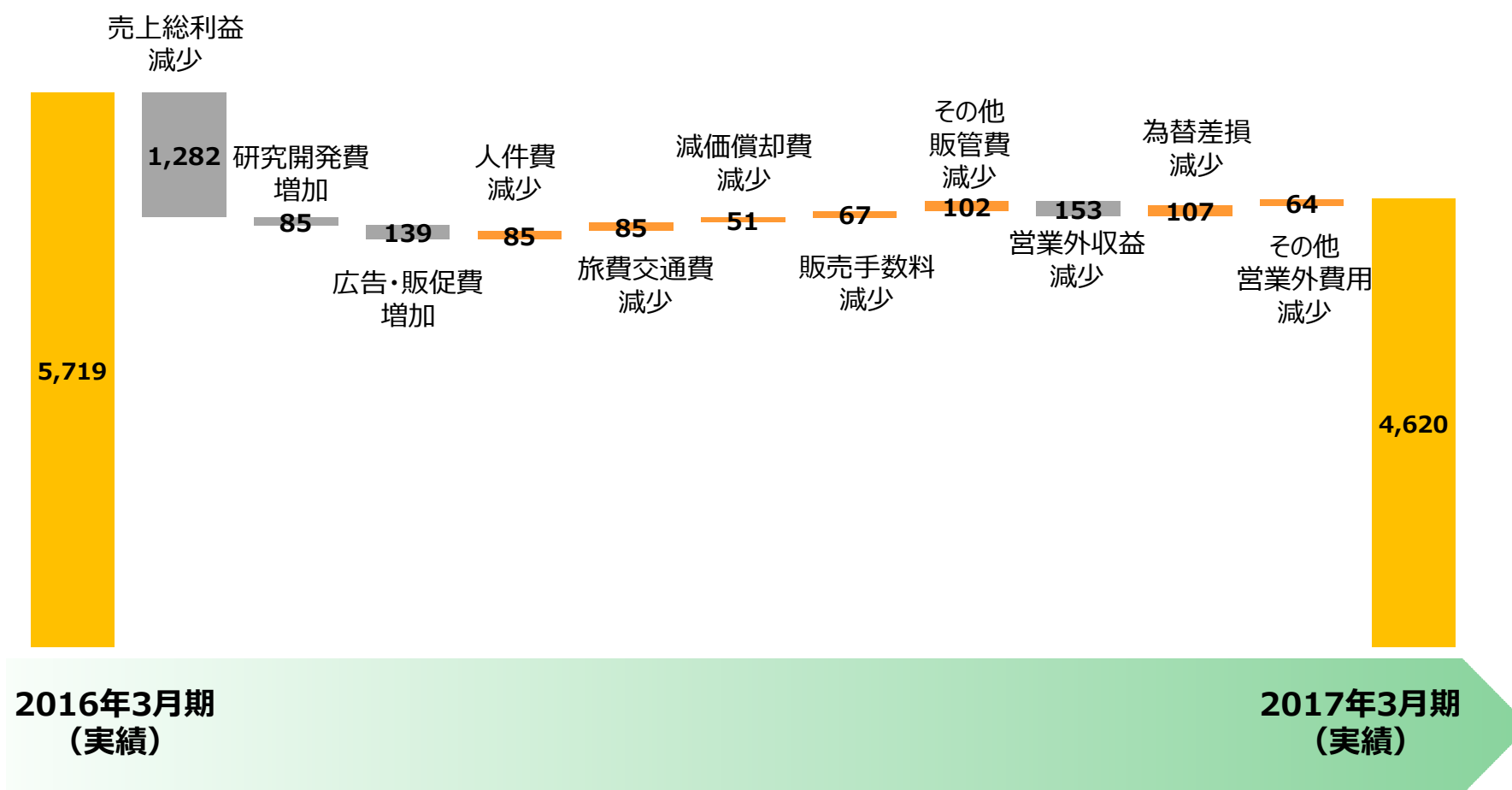
- ✓ 第1四半期は国内において補助金の採択待ちの影響や中華圏での販売が伸び悩むも、第2四半期以降は中華圏において高精度機種の販売が好調に推移し業績を牽引。
- ✓ 第4四半期は、工作機械事業が好調だったことに加え、産業機械・食品機械事業が伸長し売上・利益ともに増加。



# 経常利益増減要因（実績）

- ✓ 研究開発費や広告・販促費等一部の科目で増加しているが、販管費合計は減少。  
しかし、売上総利益が減少したことにより、経常利益は1,098百万円減少。

(百万円)



# セグメント別業績

(百万円)

		2016年3月期	2017年3月期	前期比	
		実績	実績	(額)	(率)
売上高	● 工作機械事業	47,789	43,355	△ 4,434	△9.3%
	● 産業機械事業	8,633	9,366	733	8.5%
	● 食品機械事業	3,562	3,429	△ 133	△3.7%
	● その他事業	5,161	5,661	500	9.7%
		65,146	61,812	△ 3,333	△5.1%
セグメント利益	● 工作機械事業	7,113	6,213	△ 899	△12.6%
	● 産業機械事業	319	617	298	93.2%
	● 食品機械事業	492	159	△ 333	△67.6%
	● その他事業	813	859	46	5.7%
		8,739	7,851	△ 888	△10.2%
調整額		△ 2,386	△ 2,614	△ 228	—
営業利益 合計		6,353	5,236	△ 1,116	△17.6%

## 工作機械事業

- ✓ 国内は車載用コネクタやスマートフォン関連の電子部品やレンズ向けから需要が見られたが、期後半にかけて補助金の採択待ちの影響もあり全体的に低迷。
- ✓ 北米は自動車、航空宇宙、医療機器関連からの需要が好調。
- ✓ 欧州は自動車、航空宇宙関連は堅調だが、ロシア、トルコ等で減速感あり。
- ✓ 中華圏は自動車・スマートフォン関連を中心に、高精度機種の高まりを受け、受注・販売ともに好調。
- ✓ アジアはタイ・インドネシアなど回復の兆しあり。

## 産業機械事業

- ✓ 国内は、自動車関連から車載用コネクタ向けの需要が好調。スマートフォン関連では、レンズなど高付加価値部品向けの需要は堅調。
- ✓ 中華圏・アジアにおいても、スマートフォン、自動車関連からの受注・販売ともに好調。

## 食品機械事業

- ✓ 調理麺の品質向上のための設備投資需要あり。
- ✓ 製菓、包装米飯など製麺業界以外からの機械需要あり。
- ✓ 新製品立ち上げコストの一時的な発生により、セグメント利益が減少。

## その他事業

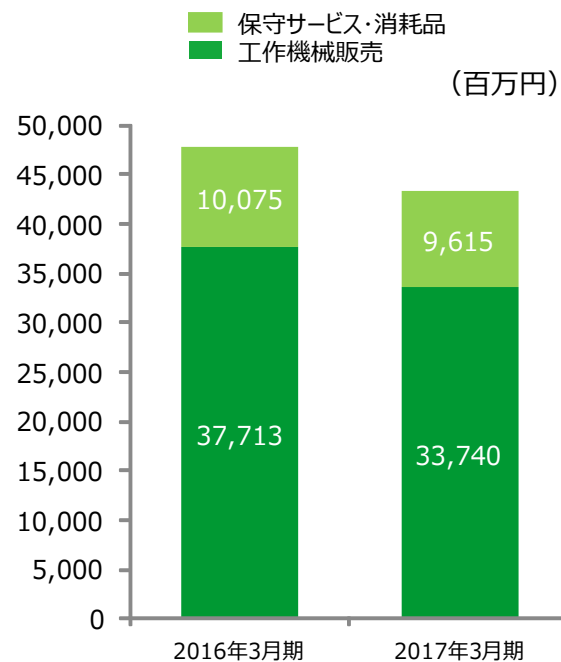
- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの販売が順調。



# セグメント別 売上高内訳

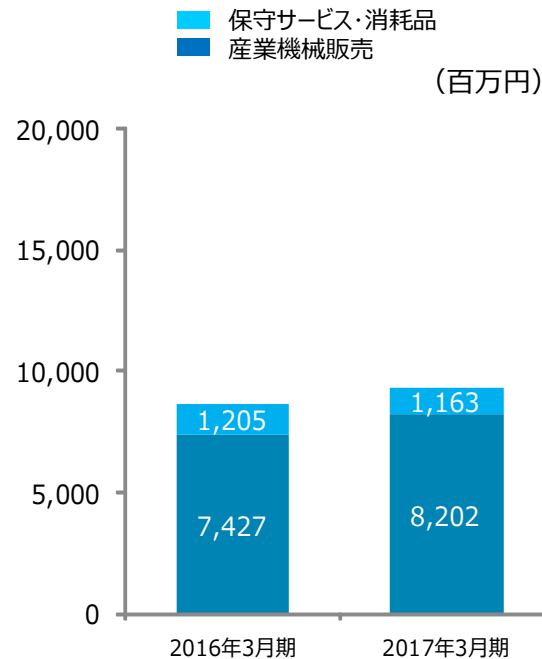
✓ 安定キャッシュを生み出す保守サービス・消耗品の売上高は2割程度を占める。

## 工作機械事業



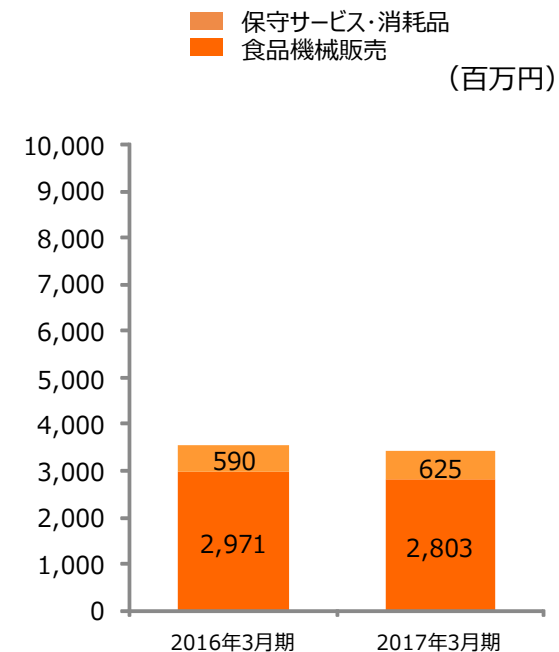
工作機械事業	2016年3月期	2017年3月期
工作機械販売	37,713	33,740
保守サービス・消耗品	10,075	9,615
合計	47,789	43,355

## 産業機械事業



産業機械事業	2016年3月期	2017年3月期
射出成形機販売	7,427	8,202
保守サービス・消耗品	1,205	1,163
合計	8,633	9,366

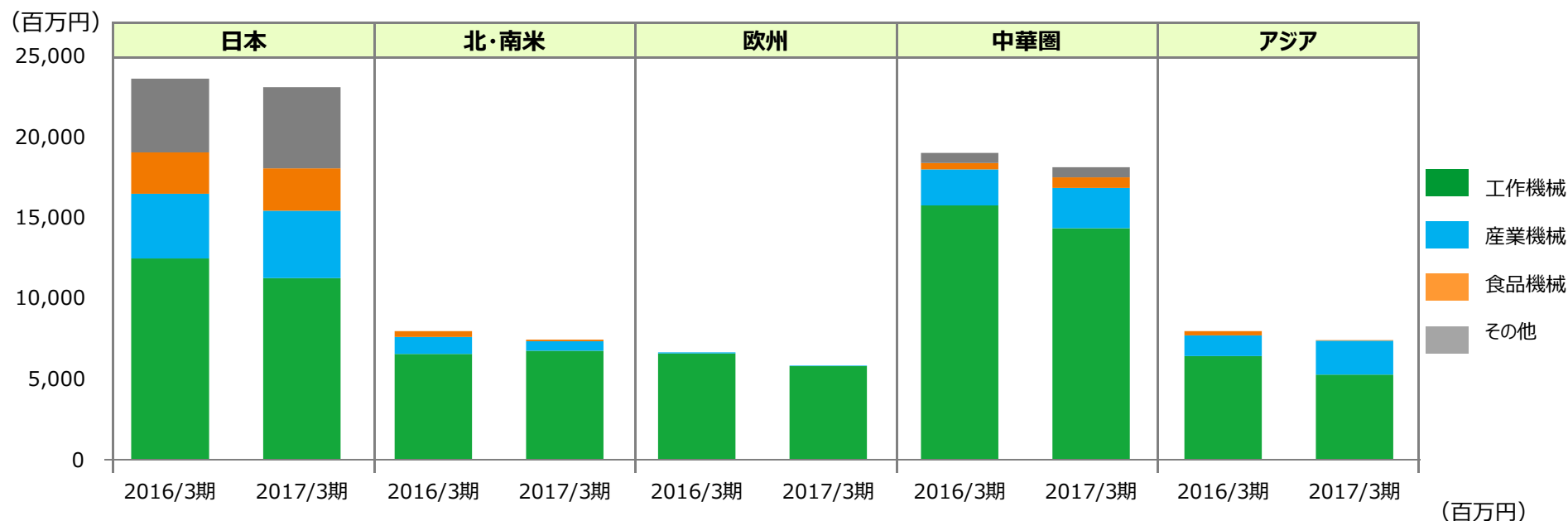
## 食品機械事業



食品機械事業	2016年3月期	2017年3月期
食品機械販売	2,971	2,803
保守サービス・消耗品	590	625
合計	3,562	3,429

# 事業別海外売上高比率

✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は62.7%。前期比1.1ポイント低下。



2016年3月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	12,466	26.1%	6,562	13.7%	6,591	13.8%	15,757	33.0%	6,410	13.4%	47,789	73.3%
産業機械	3,983	46.2%	1,055	12.2%	72	0.8%	2,220	25.7%	1,301	15.1%	8,633	13.3%
食品機械	2,566	72.0%	349	9.8%	-	-	408	11.5%	237	6.7%	3,562	5.5%
その他	4,558	88.3%	-	-	-	-	603	11.7%	-	-	5,161	7.9%
地域別計	23,574	36.2%	7,967	12.2%	6,664	10.2%	18,990	29.2%	7,949	12.2%	65,146	100.0%

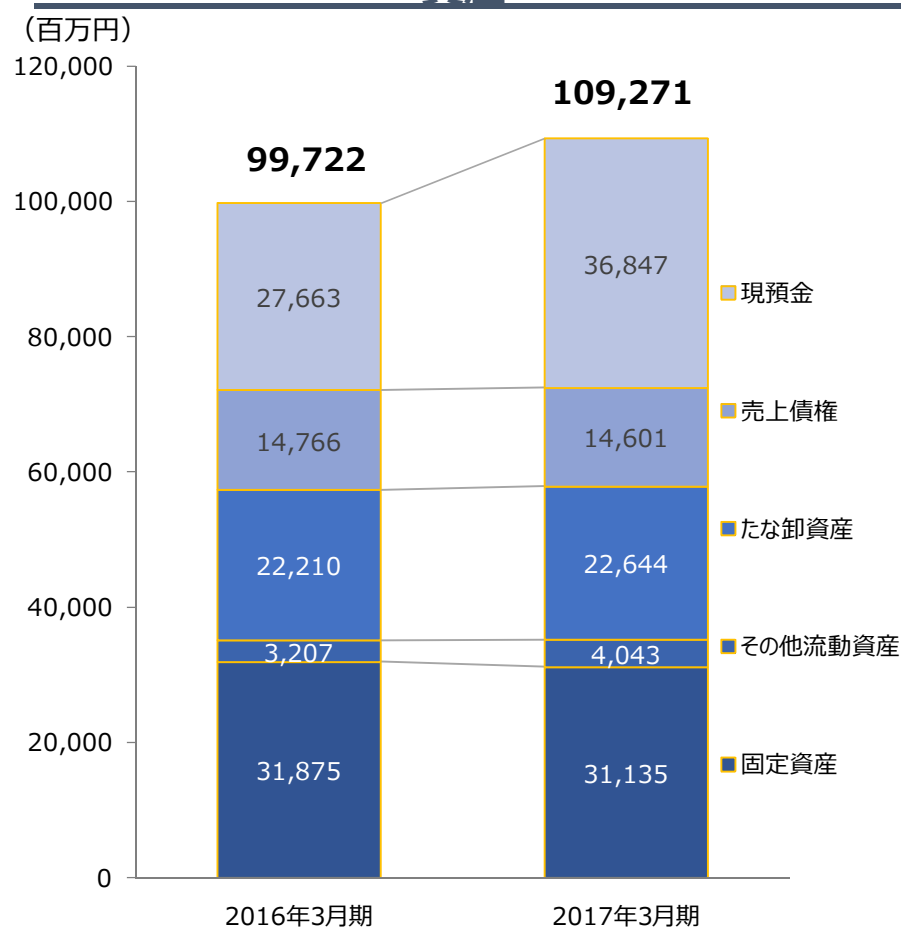
2017年3月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	11,238	25.9%	6,742	15.6%	5,792	13.4%	14,319	33.0%	5,262	12.1%	43,355	70.1%
産業機械	4,163	44.5%	591	6.3%	3	0.0%	2,512	26.8%	2,095	22.4%	9,366	15.2%
食品機械	2,631	76.7%	109	3.2%	-	-	653	19.1%	34	1.0%	3,429	5.5%
その他	5,037	89.0%	-	-	-	-	624	11.0%	-	-	5,661	9.2%
地域別計	23,071	37.3%	7,442	12.0%	5,796	9.4%	18,109	29.3%	7,392	12.0%	61,812	100.0%

為替の影響額	-	△約7億円	△約6億円	△約29億円	△約5億円	△約48億円
--------	---	-------	-------	--------	-------	--------

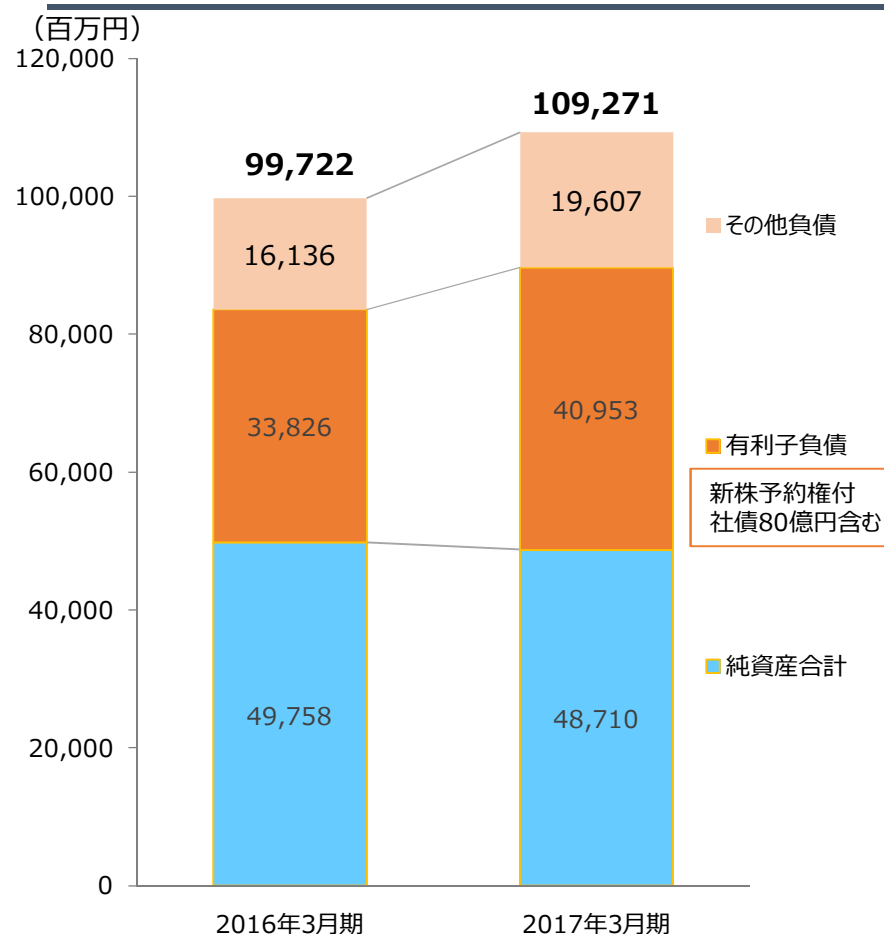
# 貸借対照表

- ✓ 新株予約権付社債にて80億円調達したことにより、有利子負債・手元現預金が大幅に増加。
- ✓ 前期末に比べ為替レートが円高に推移したことにより海外子会社の資本金等の換算により生じる為替換算調整勘定が減少したこと、約30億円の自己株式取得等により純資産は微減。

## 資産

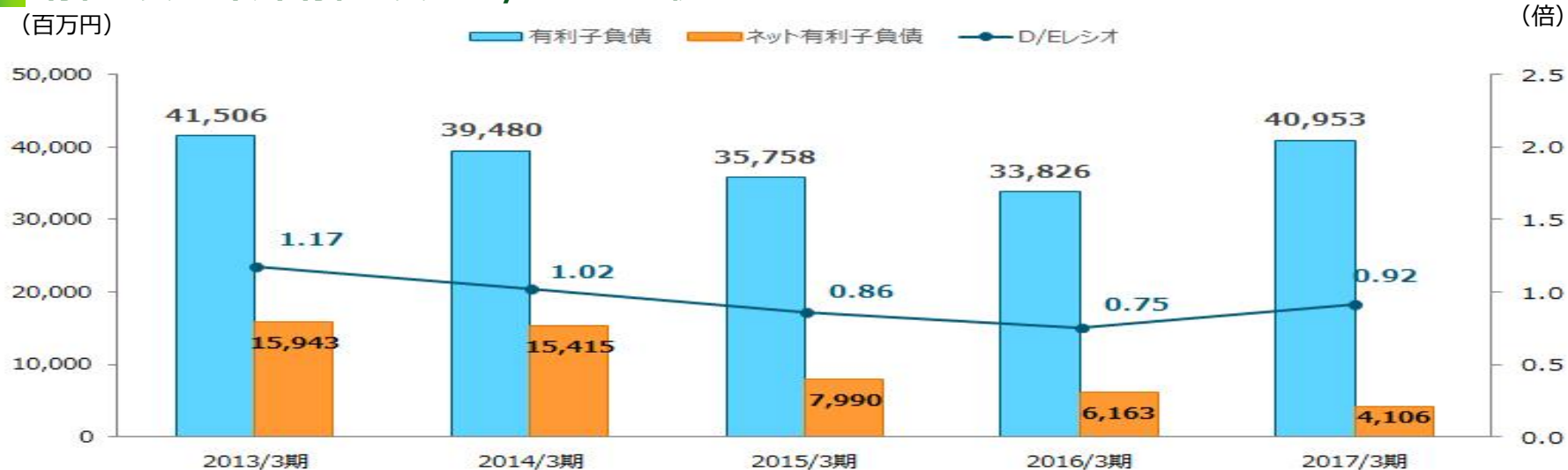


## 負債・純資産

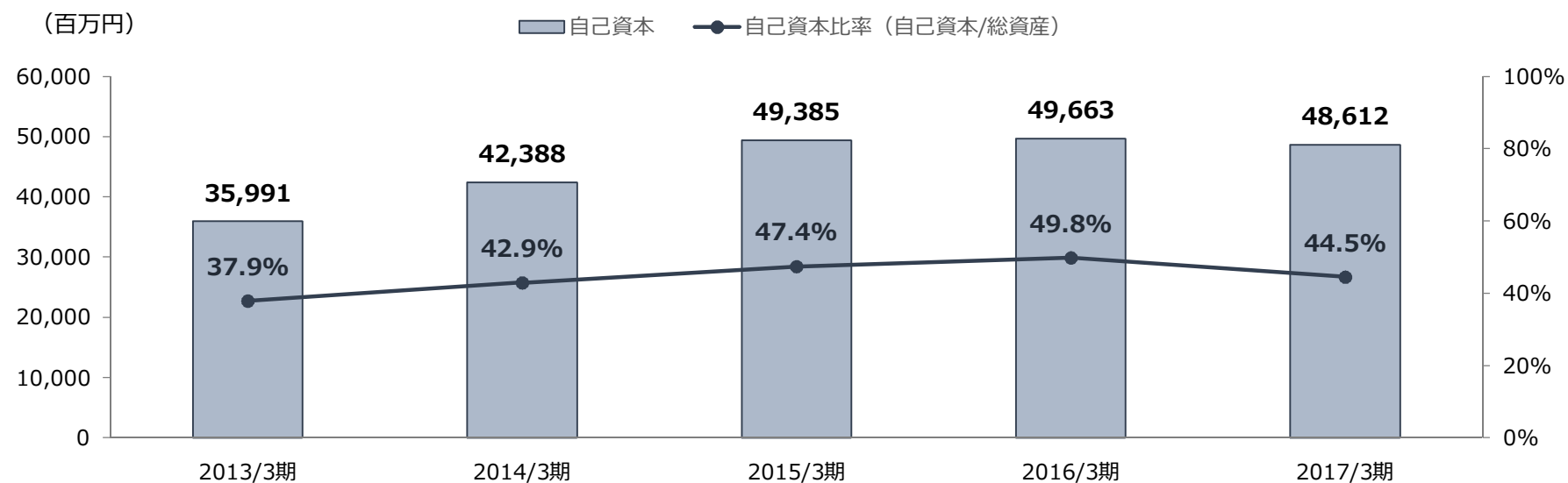


2017年3月期末 為替レート	ドル : 112.19円	ユーロ : 119.79円	人民元 : 16.76円	パーツ : 3.26円
2016年3月期末 為替レート	ドル : 112.68円	ユーロ : 127.70円	人民元 : 18.36円	パーツ : 3.19円

## 有利子負債・ネット有利子負債・D/Eレシオ 推移



## 自己資本・自己資本比率 推移

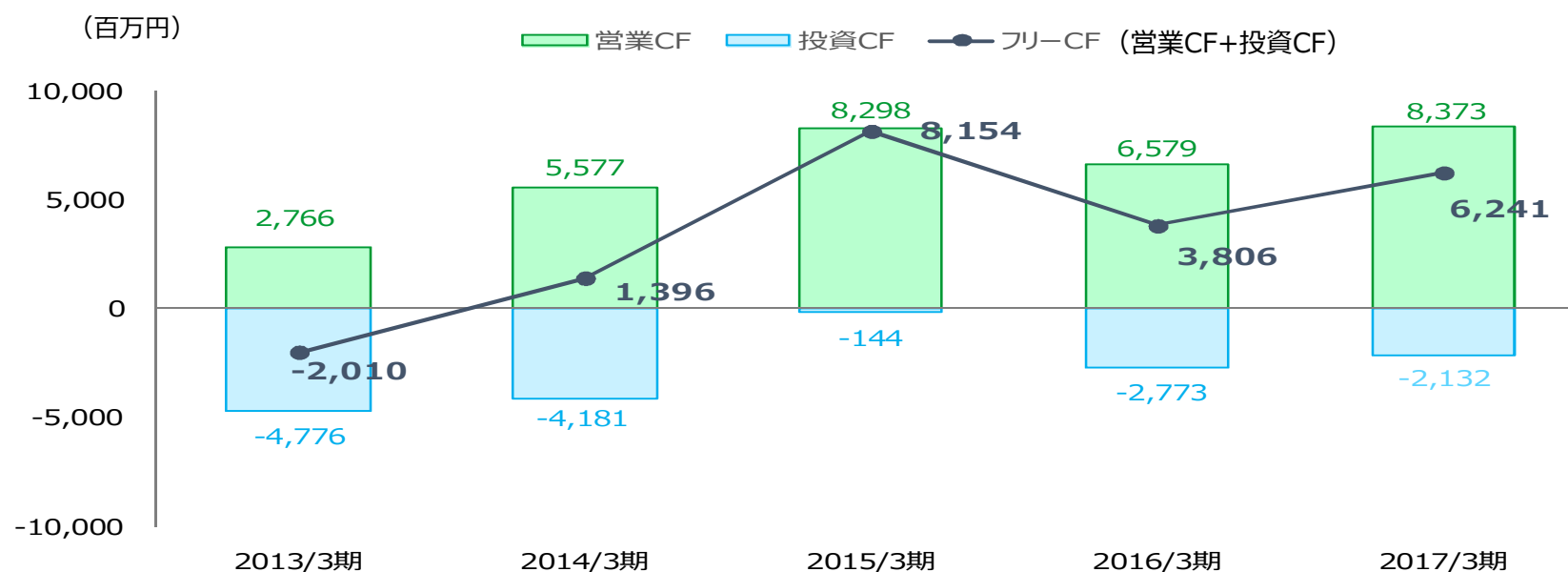


# キャッシュ・フロー

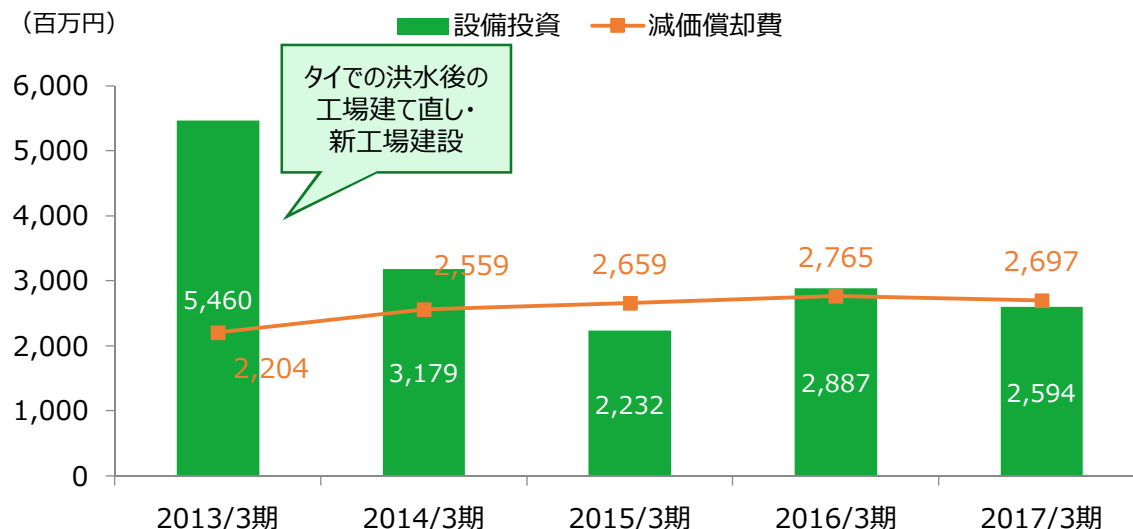
- ✓ フリーキャッシュフローは62億41百万円と大幅なプラス（前期比 24億35百万円増）。
- ✓ 現金及び現金同等物の期末残高が大幅に増加（前期比 87億9百万円増）。

(百万円)

	2016年3月期	2017年3月期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,579	8,373	棚卸資産の増加 △10億円 仕入債務の増加 +24億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,773	△2,132	有形固定資産の取得による支出 △18億円（前期比5.5億円減）
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,854	3,134	転換社債の発行による収入 +80億円 自己株式取得による支出 △30億円
現金及び現金同等物の期末残高	27,328	36,037	



## 設備投資／減価償却費の推移



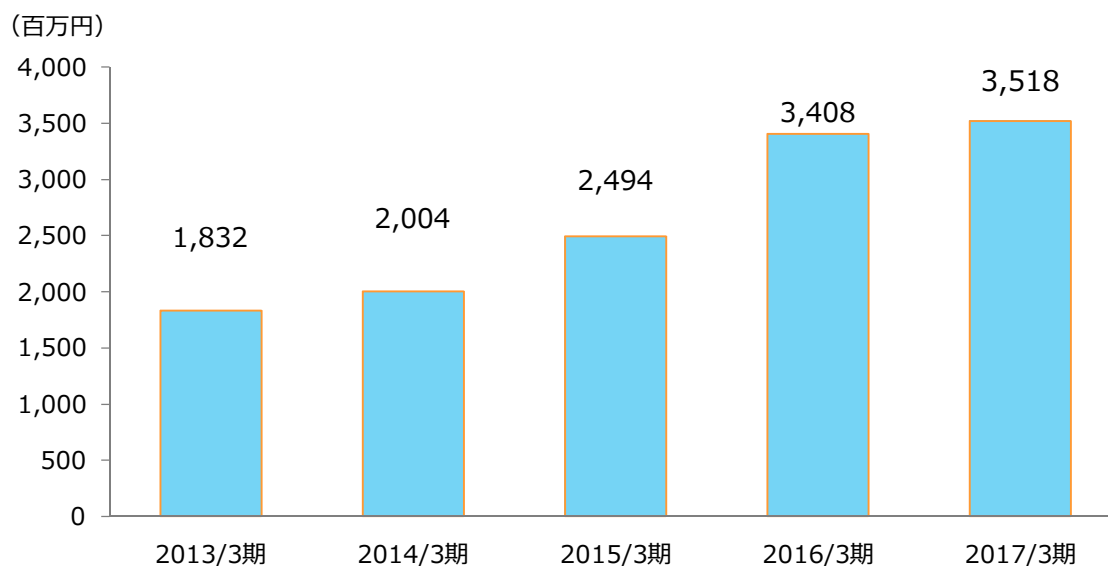
### ▶ 主な設備投資について

- ✓ 次世代要素技術に関わる半導体研究開発設備

### ▶ 減価償却費について

- ✓ ソフトウェア（ERP）の減価償却費が一巡したこと等もあり微減。






## 研究開発費の推移



### ▶ 研究開発費について

- ✓ 金属3Dプリンタ関連、その他基礎研究の開発費増加等により約1億円の増加。

# 2017年3月期リリース主な新製品

セグメント	工作機械	工作機械	産業機械	産業機械	食品機械
製品名	ウルトラハイスピード ミーリングセンタ 「UH430L LN4X」 	精密金属3Dプリンタ 「OPM350L」 	OPM金型専用 生産セルシステム 「MR30」 	eV-LINE 射出成形機 「MS100」 	製麺生地 混合装置 「エアロッカー式 真空チャンバー」 
販売市場	精密・電子・電気機器、 自動車	精密・電子・電気機器、 自動車	精密・電子・電気機器、 自動車	精密・電子・電気機器、 自動車	コンビニエンスストア、 スーパーマーケット、 外食チェーン等
製品特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新NC装置「LN4X」を搭載したリニアモータ駆動ウルトラハイスピードミーリングセンタ。制御サイクルを高速化することで微細精密領域での高品位な仕上げ加工を実現。</li> <li>・実加工シミュレーションソフトを標準搭載。加工時間や加工面質などの予測がより正確に。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来機「OPM250L」に比べ、最大造形物体積2.7倍、最大搭載質量3倍。</li> <li>・パラレルモードを搭載。1台のレーザーを高速に制御することで、複数個所を同時に造形することが可能になり造形速度が大幅に向上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属3Dプリンタで造形した3次元冷却配管内蔵の金型を専用カセットに組み込み、短時間でプラスチック製品まで作ることが出来る生産セルシステム。</li> <li>・成形機、取出し機、乾燥機類、2台の温調機、コンベア、製品回収箱など、成形に必要な機器をコンパクトにワンパッケージ化。</li> <li>・コンパクト設計、低背・省スペース、全電動、省エネ、静音化を実現。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・V-LINEの基本性能をベースとし、射出、可塑化装置および型締装置をサーボモータで駆動することで、ハイサイクルかつ高精度成形を実現。</li> <li>・省エネで環境にも優しい全電動射出成形機のエントリーモデル。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真空状態で麺生地を加工することにより、コシ・弾力のある麺の製造を実現。</li> <li>・フッ素コーティングや着脱可能な設計により、メンテナンスしやすい構造。</li> </ul>

## 1 IMTEX2017（Indian Metal-cutting Machine Tool Exhibition）出展

インド・バンガロール市にて南アジア及び東南アジアで最大規模の金属切削工作機械・製造技術見本市である「IMTEX2017」に出展いたしました。リニアモータ駆動高速ワイヤ放電加工機「VZ400L」やリニアモータ駆動 高速・高性能形彫り放電加工機「AG40L」のほか、各種消耗品などを展示いたしました。

### 【IMTEX2017 概要】

開催場所：インド、バンガロール市

開催期間：2017/1/26-2/1（7日間）

出展機種：ワイヤ放電加工機 VZ400L、形彫り放電加工機 AG40L 等

来場者数：約40,000人



## 2 CIMT 2017（第15回 中国国際工作機械展覧会）出展

中国 北京にて開催された世界四大工作機械見本市の1つである「CIMT2017」に出展いたしました。中国では初出展となるeV-LINE 射出成形機「MS100」のほか、最新鋭のワイヤ放電加工機、形彫り放電加工機を出展し、多くの引き合いを頂きました。

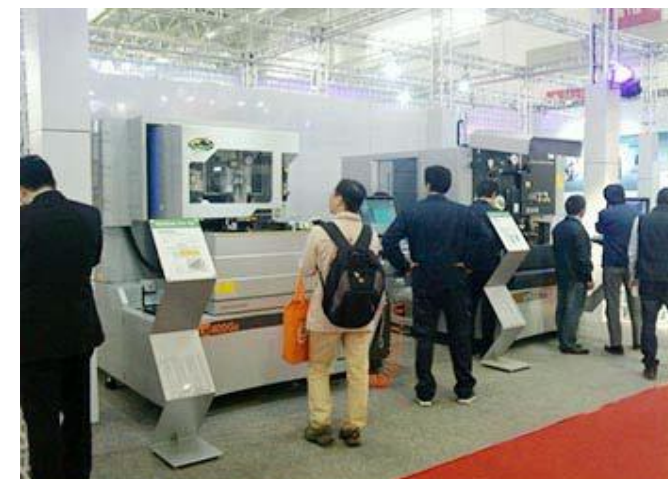
### 【CIMT2017 概要】

開催場所：中国 北京市

開催期間：2017/4/17-4/22（6日間）


出展機種：ワイヤ放電加工機 AP250L、ALN400G、  
形彫り放電加工機 AG40LP、eV-LINE射出成形機 MS100 等

来場者数：222,091人





## **Ⅱ. 2017年12月期 業績予想**



## 決算期の変更について

- ✓ 2017年度より、決算期を現行の3月31日から12月31日に変更する予定であり、2017年12月期は経過期間となります。(※)

※2017年6月29日開催の第41回定時株主総会にて「定款の一部変更の件」が承認されることが条件。

- ✓ 2017年12月期の連結対象期間は以下の通り。

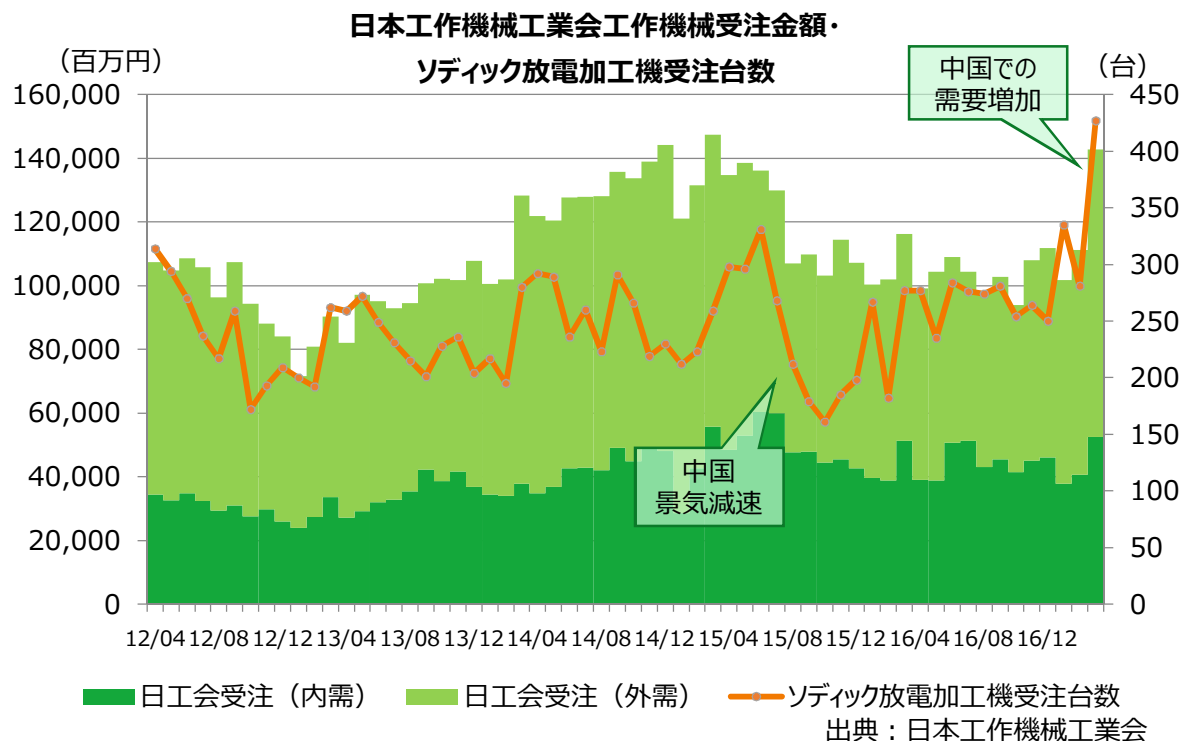
- ・3月決算会社 : 9か月 (2017年4月1日～12月31日)
- ・12月決算会社 (中華圏) : 12か月 (2017年1月1日～12月31日)

	1-3月	2017年3月期				2017年12月期		
		4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q	1-3月 4Q	4-6月 1Q	7-9月 2Q	10-12月 3Q
3月決算会社		← 12ヶ月 →				← 9ヶ月 →		
12月決算会社	← 12ヶ月 →				← 12ヶ月 →			

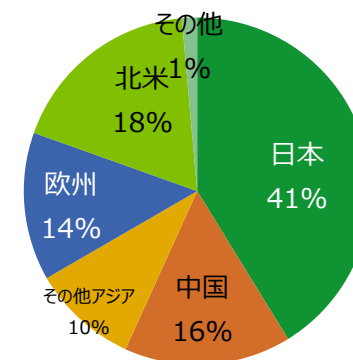
- ✓ 決算期変更の目的 :

海外連結子会社と決算期を統一することで、更なる経営情報の適時・的確な把握・開示を進め、より迅速かつ適切な経営判断と事業戦略の遂行を実現するため。

- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要により、堅調な需要が継続する見通し。
- ✓ 北米：自動車、航空宇宙、医療機器関連の設備投資需要が底堅く、堅調に推移する見通しはあるものの、米国新政権の経済政策の影響など不確定要素も多く、先行きに不透明感がある。
- ✓ 欧州：自動車、航空宇宙関連の需要は堅調に推移する見通しはあるものの、ロシアやトルコなどの地域では減速感が見られる他、イギリスのEU離脱問題や欧州各地での国政選挙などの地政学リスクもあり先行きに不透明感あり。
- ✓ 中国：政府主導のインフラ投資や不動産販売の増加等を背景に経済成長率は拡大基調。人件費の高騰等を背景に自動化への対応、より高精度な機械の需要の増加が期待できる。
- ✓ アジア：タイ、インドネシアなどでは自動車関連を中心に回復の兆しが見られる。



**日本工作機械工業会  
工作機械 地域別受注構成比  
(2016年4月-2017年3月累計)**



出典：日本工作機械工業会

## 2017年12月期 通期業績予想 ※財務報告ベース



- ✓ 2017年12月期は、想定為替レートを前期に比べ円高に見込んでいるものの、前期にリリースした金属3Dプリンタを含む新製品の販売増加を計画しているほか、放電加工機、射出成形機など既存事業の伸長を見込んでおり収益力向上を見込む。

(百万円)

	2017年3月期		2017年12月期 (2017年4月～12月：9か月変則)	
	実績	利益率	予想	利益率
売上高	61,812	-	55,800	-
営業利益	5,236	8.5%	5,300	9.5%
経常利益	4,620	7.5%	5,200	9.3%
当期純利益	3,644	5.9%	3,700	6.6%
包括利益	2,728			
ROE	7.4%			

期中平均 為替レート	ドル	108.34 円	105.00 円
	ユーロ	118.74 円	116.00 円
	人民元	16.32 円	15.80 円
	パーツ	3.08 円	3.16 円

※2017年12月期は9か月の変則会計となるため、増減は記載しておりません。

# セグメント別 通期業績予想

# ※財務報告ベース



(百万円)

		2017年 3月期	2017年12月期 (2017年4月～12月： 9か月変則)
		実績	通期 予想
売上高	● 工作機械事業	43,355	38,400
	● 産業機械事業	9,366	9,060
	● 食品機械事業	3,429	3,800
	● その他事業	5,661	4,540
		61,812	55,800
セグメント 利益	● 工作機械事業	6,213	5,380
	● 産業機械事業	617	850
	● 食品機械事業	159	370
	● その他事業	859	600
		7,851	7,200
調整額		△ 2,614	△ 1,900
営業利益 合計		5,236	5,300

## 工作機械事業

- ✓ 国内は補助金の影響もあり堅調に推移する見通し。
- ✓ 北米・欧州は設備投資需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏は、自動車、スマートフォン関連向けの高精度機の需要が引き続き好調に推移する見通し。
- ✓ 東南アジアは厳しい状況が続いているものの、タイ・インドネシアなどの自動車関連を中心に回復する見通し。

## 産業機械事業

- ✓ 国内市場は自動車を中心に堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏およびアジア地域ではスマートフォン、コネクタ関連向けの高精度な機械需要が増加しており、高い受注水準が継続する見通し。

## 食品機械事業

- ✓ 高品質な麺需要が引続き見込まれるほか、製菓、包装米飯・包装惣菜など製麺業界以外からの引き合いが増加する見通し。

## その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの外販も引き続き堅調に推移する見通し。

※2017年12月期は9か月の変則会計となるため、増減は記載しておりません。

# 2017年12月期 通期業績予想

※比較参考数値（調整後）



(百万円)

	2017年3月期		2017年12月期 通期 (2017年1月～12月)	
	実績	利益率	予想	利益率
売上高	61,812	-	67,900	-
営業利益	5,236	8.5%	6,900	10.2%
経常利益	4,620	7.5%	6,600	9.7%
当期純利益	3,644	5.9%	4,800	7.1%
包括利益	2,728			
ROE	7.4%			

期中平均 為替レート	ドル	108.34 円	105.00 円
	ユーロ	118.74 円	116.00 円
	人民元	16.32 円	15.80 円
	バーツ	3.08 円	3.16 円

# セグメント別 通期業績予想

※比較参考数値（調整後）



(百万円)

		2017年 3月期	2017年12月期 (2017年1月～12月)
		実績	通期 予想
売上高	● 工作機械事業	43,355	46,000
	● 産業機械事業	9,366	11,300
	● 食品機械事業	3,429	4,700
	● その他事業	5,661	5,900
		61,812	67,900
セグメント 利益	● 工作機械事業	6,213	6,870
	● 産業機械事業	617	1,400
	● 食品機械事業	159	460
	● その他事業	859	730
		7,851	9,460
調整額		△ 2,614	△ 2,560
営業利益 合計		5,236	6,900

✓ 2017年12月期の各項目に関する予想については、以下の通り。

<b>設備投資</b>	設備投資は約34億円を見込む。 <ul style="list-style-type: none"><li>・アメリカ営業拠点の新社屋 約6億円</li><li>・横浜本社 研究開発棟 約5億円</li><li>・タイ工場 生産能力増強 約4億円</li></ul>
<b>減価償却費</b>	減価償却費は約21億円を見込む。
<b>研究開発費</b>	研究開発費は約30億円と高水準を維持。 <ul style="list-style-type: none"><li>・金属3Dプリンタ関連の研究開発</li><li>・新電源、次世代CNC及び新機種の開発</li><li>・高付加価値な成形を可能にする新機種の開発及び金型成形自動化設備の開発</li></ul>

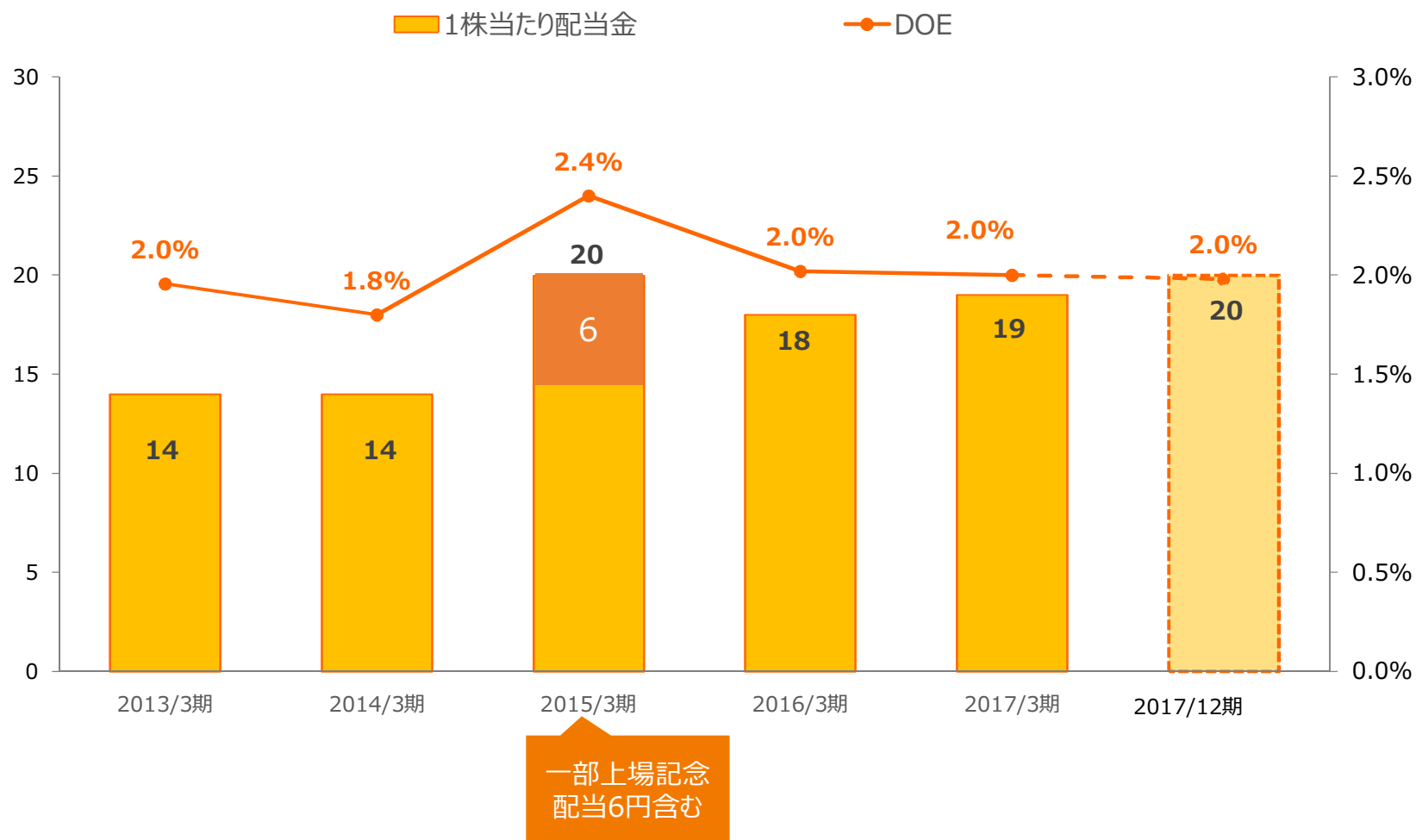


## Ⅲ. 株主還元

---

# 株主還元方針及び配当予想

- ✓ 配当方針として株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2017年12月期の年間配当金は、20円の予定（中間10円、期末10円）。



## **IV. 中長期的戦略及び見通し**

---

## 金属3Dプリンタ事業の進捗状況

- ✓ 2014年10月から金属3Dプリンタの販売をスタートしておりますが、新しい生産技術であり、ベンチマークテスト・評価に想定以上の時間を要すること、中国・アジア等への輸出申請の認可手続き等に時間を要することもあり、当初計画に対し進捗が遅れております。

	2016年3月期	2017年3月期
販売台数（各期期初計画）	40数台	50数台
出荷台数（実績）	30台程度 （うち約3分の1が外部販売）	30台程度 （うち約半数が外部販売）
売上高（外部販売）	約5億円	約8億円

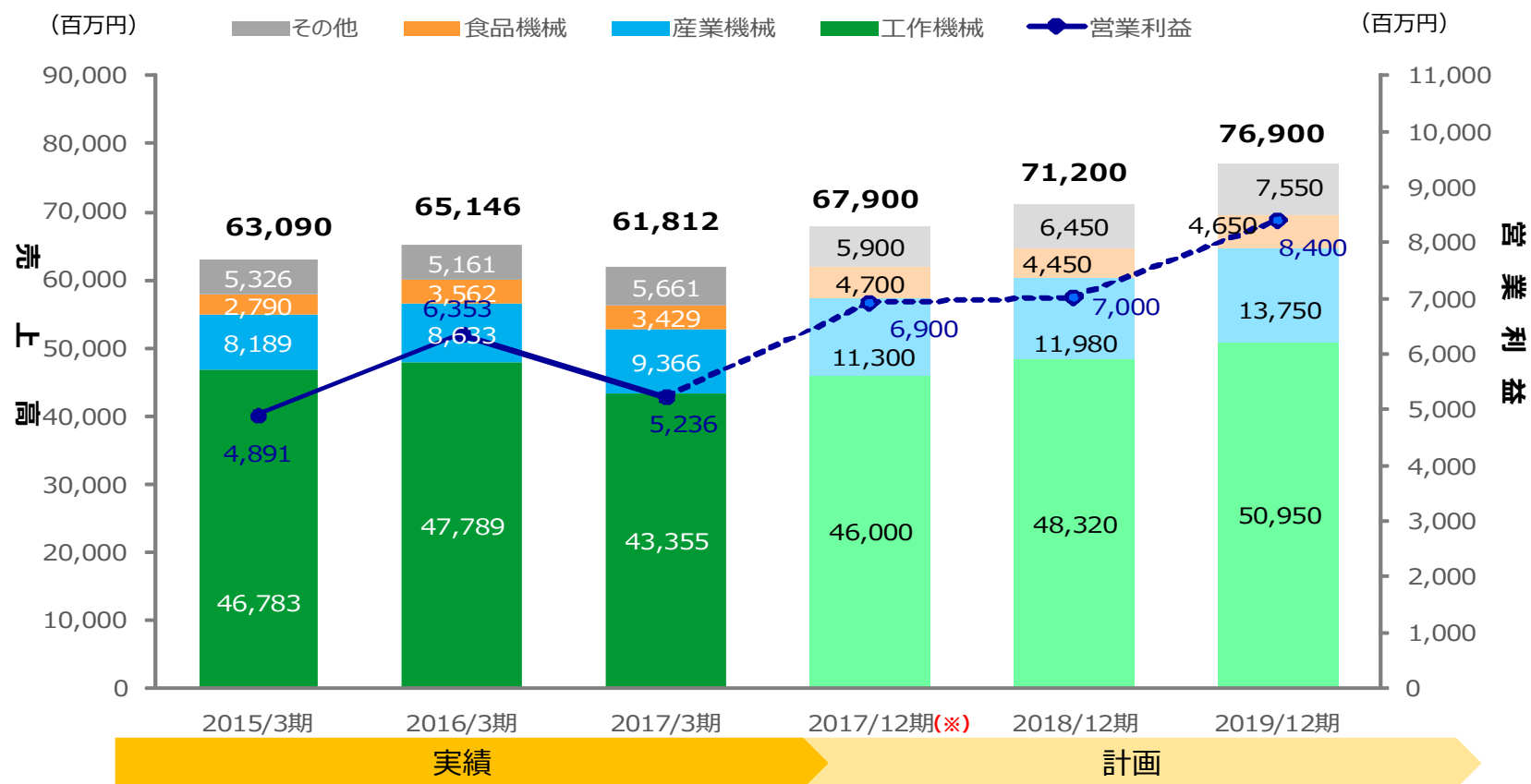
## 金属3Dプリンタ事業の今後の取組みについて

- ✓ 2017年1月～12月は販売台数（外部販売） 50台程度、売上高 25億円程度を見込む。
- ✓ グローバルでの営業活動を加速させ、販売台数の増加を図る。  
（営業人員の増員、テスト加工機・ショールーム展示機の拡充等、営業体制の増強）
- ✓ 金属3Dプリンタ金型専用 射出成形機「MR30」を併せて展開することにより、プラスチック金型成形市場でのプレゼンスを向上。
- ✓ 製品ラインナップの拡充、加工性能・加工速度の向上、対応可能な金属粉のバリエーション拡充。

## 特別損失（関係会社株式評価損4億62百万円）の計上について

- ✓ 金属3Dプリンタ事業の進捗の遅れに伴い、2017年3月期において金属3Dプリンタの受託加工、コンサル、ソフトウェア開発、金属粉末材料開発等を行っている当社非連結子会社のOPMラボラトリー社の株式の評価損を計上。

2019年12月期までに、売上高769億、営業利益84億を展望。



※2017年12月期は、比較参考のため2017年1月～12月の1年間に換算した数値を表記しています。

## 工作機械事業

- ✓ **全地域におけるマーケットシェア拡大**
  - ⇒新興国マーケットにおいて、低価格機種「V Lシリーズ」の販売強化
  - ⇒先進国マーケットにおいて、当社主力製品である高精度ワイヤ放電加工機「A Lシリーズ」を拡販
- ✓ **金属3Dプリンタの販売・研究開発を加速**
  - ⇒中華圏・アジア向けの販売を本格的に開始
  - ⇒造形速度、メンテナンス性の向上、使用材料のラインナップ拡充により市場を拡大
- ✓ **生産の効率化、機種統合により製造原価を低減**

## 産業機械事業

- ✓ **海外売上高比率を70%以上に向上**
  - ⇒製造原価の低減、販売体制の再構築・営業強化
  - ⇒海外マーケットに合った射出成形機の開発、販売
- ✓ **ラインナップの更なる拡充により、新たな需要を創出**
  - ⇒新素材、成形方法の改良に合わせた新機種を開発
  - ⇒金属3Dプリンタに適した射出成形機を開発
- ✓ **収益力強化を目指した原価低減プロジェクトへの取り組みを推進**

## 食品機械事業

- ✓ **新工場立上げによる収益力の改善**
  - ⇒16年4月に新設したショールーム・研究室の活用による製品開発および販売促進強化
- ✓ **海外市場向けの製品開発により海外売上高拡大**

**(参考資料)**



# 国内外の拠点



本社

生産拠点

開発拠点

販売・サービス拠点



## 主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
5/16~19	中国	広州	CHINAPLAS 2017 (第31回 国際プラスチック・ゴム産業展)	
6/13~16	日本	東京	FOOMA JAPAN 2017 (国際食品工業展)	
6/13~16	中国	上海	DMC (Die & Mold China) 2017	
6/21~24	タイ	バンコク	Intermold Thai	
7/4~7	ベトナム	ホーチミン	MTA Vietnam(International Precision Engineering, Machine Tools and Metalworking Exhibition & Conference)	
7/12~15	インドネシア	スラバヤ	MachineTools&manufacturingIndonesia-Surabaya	
8/23~26	フィリピン	マニラ	PhilippineDie&MoldMachineTools	
9/12~14	米国	LA	Westec2017	工作機械・金属加工技術展示会
9/18~23	ドイツ	ハノーバー	EMO2017	世界最大級の工作機械展示会
10/11~13	ベトナム	ハノイ	MTA Vietnam	
10/12~14	ベトナム	ホーチミン	METALEX VIETNAM (ベトナム国際工作機械・加工展)	
10/18~21	日本	名古屋	M E C T 2017 (メカトロテックジャパン2017)	国内最大級の工作機械見本市
10/24~28	日本	幕張	I P F 2017 (国際プラスチックフェア)	
11/22~25	タイ	バンコク	MetalexThai (タイ国際工作機械・加工展)	
11/28~12/1	中国	東莞	東莞DMP2017 (東莞国際金型・金属加工展覧会)	
12/6~9	インドネシア	ジャカルタ	Machine Tools Indonesia	

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック 経営管理部

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835